



ふじさわ 防災ナビ

～みんなの防災・オーダーメイドの災害対応編～



保存版

市民のみなさんへ



藤沢市長 鈴木 恒夫

藤沢市は、災害対策基本法に基づき、本市及び防災関係機関が実施する災害予防、災害応急対策、災害復旧復興などに関する対策を「藤沢市地域防災計画」として定め、様々な取組を総合的に実施しています。

その取組の一つとして、「藤沢市地域防災計画」では、この小冊子やメールマガジンなどの防災・災害情報提供ツールを「ふじさわ防災ナビ」と位置づけ、平常時の防災情報から災害発生時の災害情報まで、市民のみなさんに多様な情報を提供することとしています。

この小冊子を活用して、家族と防災について話し合いましょう。次に、被害を軽減するため、あなたが普段からできることから始めてみましょう。

一人ひとりの行動は小さいものかもしれません、みんなで取り組んでいくことにより、安全で安心して暮らせる藤沢市にしていきましょう。

この小冊子の目的

「ふじさわ防災ナビ みんなの防災」は、「藤沢市地域防災計画」に定めている事項のうち、特に市民生活に関わるものについて、その内容を分かりやすくお知らせし、防災知識の向上を図ることを目的としており、「オーダーメイドの災害対応編」と「知識と備え編」の2つで構成されています。

この小冊子「オーダーメイドの災害対応編」は、藤沢市民のみなさんに知っておいていただきたい、地震・風水害の際の災害対応について記載しております。

小冊子の使い方に沿って、それぞれの家庭に合わせた防災ナビを作り上げ、災害への備えとしてください。

※ 「知識と備え編」については、防災政策課または危機管理課にお問い合わせください。

目次

1	オーダーメイドの災害対応	3
1-1	地震	3
1-2	風水害	10
2	資料	14
2-1	備蓄チェックリスト	15
2-2	避難先一覧	17
2-3	各家庭で作る防災マップ	22

この小冊子の使い方

- ・災害時、みなさんがどう行動したらいいか、時系列のステップに沿って、想像しながら読み進めてみましょう。
- ・ステップにある書込欄には、資料の避難先一覧や各家庭で作る防災マップ（以降、マップ）で避難場所などを確認して書き込みましょう。
- ・避難先一覧で確認した避難場所などは、自宅と共にマップに落として、複数の避難経路を書き込み、マップを完成させましょう。
- ・備蓄チェックリストの品目や目安の量を参考にして、それぞれの家庭にあったものを準備しておきましょう。
- ・連絡先をまとめて裏表紙に書き込み、「それぞれの家庭に合わせた防災ナビ」を作り上げましょう。
- ・できあがった防災ナビは、家族の目につきやすい所に掲示し、毎月家族で確認しましょう。



1 オーダーメイドの災害対応

1-1 地震

地震が起きたらどうすべきか考えておきましょう

家族がバラバラのときに地震が起きたらどうなるか、事前にどのような備えをしておくかなど、家族・近隣の方と話し合う機会を設けましょう。



地震発生時の対応手順

地震発生（揺れの到達前）



緊急地震速報で地震発生を知る

緊急地震速報は、テレビ・ラジオ・携帯電話（スマートフォンを含む）・防災行政無線などで入手することができます。ただちに「身の安全」を確保しましょう。



実際に揺れを感じたら

**ステップ
1**

自分の命は自分で守る

揺れを感じたら、まず「身の安全」を確保

背の高い家具や窓ガラスから離れ、落下物のない場所や机の下などに入って、**頭を保護**します。慌てて外に飛び出さないように注意しましょう。

「自分の身を守る」
これが、イチバン大事！

- ・スーパーやデパートなどにいる場合は、バッグや買い物かごなどで頭を保護し、ショーケースなどの倒れやすいものから離れましょう。
- ・屋外にいる場合は、窓ガラスや外壁、看板などが落ちてくる危険性があるため、注意しましょう。
- ・バスや電車など乗り物に乗っている場合は、急ブレーキや緊急停車に備え、けがをしないように姿勢を低くしましょう。



現在地を確認して次のステップへ

津波浸水想定区域内にいる場合
(いるかどうかわからない場合) は

**ステップ
2**

へ

津波浸水想定区域
外にいる場合は

**ステップ
3**

へ

ステップ
2

海岸や河川の付近など、津波の危険がある場所（津波浸水想定区域）にいる場合は、直ちに避難！

こんなときは、直ちに避難

- ・揺れを感じたとき
- ・海や川に異変があったとき
- ・大津波警報・津波警報・津波注意報が発表されたとき
- ・避難の呼びかけがあったとき



ここに避難しよう

直ちに津波浸水想定区域外に避難しましょう。区域外への避難が困難な場合は、津波避難ビルなどの高い場所へ避難しましょう。
※原則、津波避難ビルにはペットは入れません。



こう避難しよう

声を掛け合って、危険な場所に注意しながら、なるべく徒歩で避難しましょう。
大津波警報・津波警報・津波注意報が解除され、安全が確認できるまで戻らないようにしましょう。

安全が確認できたら、

ステップ
6

または

ステップ
10

へ

ステップ
3

火の始末と出口確保

必ず揺れが収まってから

揺れの途中で火に近づくのはやめましょう。
火が出ていたら、落ち着いて消火しましょう。
ドアや窓を開けて、出口を確保しましょう。

火を消せ
ない場合は

ステップ
8

へ

ステップ
4

自宅の中の状況確認



スリッパや靴を履き、足元に注意しながら

家具などが転倒して閉じ込められた場合は、周囲の助けを呼ぶ必要があります。防災笛を吹いたり、周囲の物を叩いて大きな音を出したりして、存在を知らせましょう。

ステップ
5

情報収集



基本は、ラジオ！レディオ湘南(83.1MHz)、NHK FM(81.9MHz)

そのほか、防災行政無線、メールマガジン、テレビ、インターネット、防災ラジオ、スマートフォンアプリなどあらゆる手段で行いましょう。

防災行政無線が聞きとりにくいときは、放送終了後に電話による防災無線放送内容案内（テレドーム0180-994-144）やツイッター(https://twitter.com/Bousai_Fujisawa)で確認してね！

ステップ
6

一時避難場所へ集合

自宅や津波避難ビルなどから出たら

非常持出品(P15の一覧表を使ってチェックしておきましょう)を持って、自主防災組織などが指定した一時避難場所に集まり、自主防災組織の一員として、近隣の方の安否を確認しましょう。

「一時避難場所」はどこだろう？

()

マップの「一時避難場所」に印をつけよう。

分からぬときは、近隣の方や自治会・町内会長に聞いてみよう。



ステップ 7

近隣への声かけ

一時避難場所へ集合していなかった近隣の方に声をかけて、助けを必要としているか確認しましょう。

町内会の名簿があれば、そこに防災のための情報を書く欄を設けるのも有効だって！
組や班ごとで、声かけ訓練などやっておこう！



ステップ 8

初期消火活動

地域で火事が起こっている場合は、大きな声で知らせ、消火器やバケツリレーなど、近隣の方と協力して初期消火活動を行いましょう。

ステップ 9

広域避難場所への避難

火が大きくて消せない場合は、命を優先して広域避難場所へ避難しましょう。

近い「広域避難場所」はどこだろう？

()
マップの「広域避難場所」に印をつけよう。古い住宅の密集地にも、色をつけてみよう。

ステップ 10

救出・搬送・応急救護

近隣の方や自主防災組織のメンバーに声をかけ、倒壊家屋の下敷きになっている人や家具などにはさまれている人を救出しましょう。救出された人は、けがの程度に応じて、最寄りの医院・診療所や応急救護所、地域救護病院へ搬送しましょう。

「医療機関」はどこだろう？

最寄りの医院・診療所

()
応急救護所

()
地域救護病院

()



自宅の状況を確認して次のステップへ

自宅での生活が
困難な場合は

ステップ
11 へ

自宅が無事な
場合は

ステップ
14 へ

避難施設での生活
が困難な場合は

ステップ
13 へ

ステップ **11** 避難施設への避難

自宅が被災し、生活が
困難な場合は、避難施
設に避難します。

避難する際は、電気のブ
レーカーを切り、ガスの
元栓を閉めましょう。

避難施設ごとにペット

などのルールが決まっています。事前に確認しておきましょう。

自宅が無事な場合は、無理に避難する必要はありませんが、食
料や生活物資が不足したときは、避難施設で受け取ることにな
りますので、避難施設で在宅被災者の登録をしましょう。

「避難施設」はどこだろう？

(
マップの「避難施設」に
印をつけよう。)

ステップ **12** 避難施設の運営

避難施設に届いた物資などは、避難施設運営委員
会が中心となって登録者に配布します。避難施設
は物資・情報の拠点であり、避難施設に避難してい
る方はもちろん、在宅被災者登録している方にも食料・物資を配布します。

ステップ
15 へ

ステップ
13

福祉避難所では

福祉避難所は、避難施設での生活が困難な要配慮者（高齢者や障がい者など）のための一時的な避難施設です。

受入れ可能な福祉的機能を持った避難施設などが確保できるまでの避難生活の場となります。

福祉避難所は、市民センター・公民館に開設されます。

「福祉避難所」はどこだろう？

（市民センター・公民館）

マップの「福祉避難所」に印をつけよう。



妊婦さんや支援が必要な方は、福祉避難所に行けばどうしたらいいか、情報が手にはいるんだキュン！

ステップ
14

自宅が無事な場合は

防災備蓄品（P16の一覧表を使ってチェックしておきましょう）を使い、自宅で生活を続けましょう。

避難施設へ「在宅被災者」として登録し、定期的に避難施設に行くことで、食料や物資を受け取るだけでなく、様々な情報収集も行いましょう。

避難施設で避難生活を行っている方はもちろん、自宅での生活を行っている方も、避難施設の運営に協力しましょう。



ステップ
15

みんなで助け合う

被災後は、お互いの助け合いが大事です。

自宅や家族、自分自身が無事な場合は、避難施設などでボランティア活動をするなど、みんなで助け合いましょう。



1 オーダーメイドの災害対応

1-2 風水害

風水害が起きたらどうすべきか考えておきましょう

台風が近づいたとき、急な集中豪雨が起きたときにどうなるかなど、家族で話し合う機会を設けましょう。

風水害は、事前に備える
ことができるんだ！
事前にしっかり備えて、風
水害が発生しそうなとき
は、必ず早めに安全な場
所に避難しよう！



風水害時の対応手順

ステップ
1

普段から自宅の周りをチェックしよう

事前に片づけておこう

風により、自宅の周りやベランダに置いた鉢植えや物干し竿などが飛ばないようにしましょう。側溝や雨どいなどに詰まりがあると、ちょっとした雨でもあふれてしまうので、普段から掃除しておきましょう。自宅のチェックが終わったら、近隣の方にも声をかけましょう。特に、高齢者や障がいの方々に配慮し、積極的に声をかけましょう。





自宅の周りのチェックポイント！

テレビアンテナ

錆びたり緩んだりしていないか。

雨どい

枯葉やゴミが詰まっていないか。

窓ガラス・雨戸

飛来物に備え、雨戸はきちんと閉めているか。雨戸がない場合、外側から板でふさぐ。

屋根

瓦のひび割れやすれ、トタンのめくれはないか。

家具

浸水のおそれがある場合、高い所へ移動する。

外壁

モルタル壁の亀裂や板壁の腐り・浮きはないか。

プロパンガス

ボンベを固定しているか。

ベランダ・庭

飛ばされやすい物（鉢植えや物干し等）を室内に取り込むか、固定しているか。

止水板

浸水のおそれがある場合、板と土のうを使って、水の流入を防ぐ。

側溝

土砂やゴミが詰まっていないか。

ステップ 2

テレビ、ラジオ、インターネットで 気象情報を集めよう

注意報・警報・特別警報や防災情報は、藤沢市ホームページやスマートフォンアプリ「ふじさわ街歩きナビ」、ふじさわメールマガジン配信サービス「ふじさわ防災ナビ～防災・気象情報」で知ることができます。メールマガジンは、事前に登録しておきましょう。

※メールマガジンの登録方法は、藤沢市ホームページに詳しく掲載しております。「藤沢市 メルマガ」で検索してみてください。（登録方法が分からぬ場合は、防災政策課または広報課、市民センター・公民館にお問い合わせください。）

ステップ
3

危ない所には近づかない

海、川、急傾斜地、アンダーパス（地下道）など、危険を感じる場所には近づかないようしましょう。

特に、**堤防や田んぼの様子を見に行くことは、絶対にやめましょう。**
急傾斜地で、以下のような崖崩れの前兆現象が見られた場合は、できるだけ早く避難しましょう。

- ・斜面の途中から水が吹き出す。 • 樹木が倒れたり、揺れたりする。
- ・小石がぱらぱらと落ちる。 • 地鳴りや山鳴りがする。



ステップ
4

避難情報が出たら、近隣の方と声をかけ合って避難！

特に、高齢者や障がい者、妊婦・乳幼児など避難に時間がかかる方は、避難準備・高齢者等避難開始が発令された時点で避難を開始する必要があります。



雨風が激しくなってからの避難や暗くなつてからの避難は危険です。その前に、藤沢市が指定している水害避難所など、安全な場所への避難を終えましょう。

「水害避難所」はどこだろう？

(

)

マップの「水害避難所」に印をつけよう。

避難情報	行 動
避難準備・高齢者等避難開始	高齢者、障がい者、妊婦・乳幼児など避難に時間要する方は、避難を開始（避難支援者は支援行動を開始）しましょう。それ以外の方は、家族等との連絡、非常持出品（P15）の準備等、避難準備を開始しましょう。
避難勧告	通常の避難ができる方は、水害避難所等へ避難を開始しましょう。
避難指示（緊急）	避難中の方は避難を直ちに完了しましょう。まだ避難していない方は、命を守る最低限の行動をとりましょう。



ステップ
5

避難することになったら

- ・動きやすく安全な格好で、2人以上で歩いて避難しましょう。
- ・高い所の道路を通り、水中の危険物には注意して避難しましょう！
- ・土砂災害警戒区域を避けて、安全に避難しましょう。（P22以降のマップを事前に確認しておきましょう）
- ・子どもや高齢者に配慮しましょう。

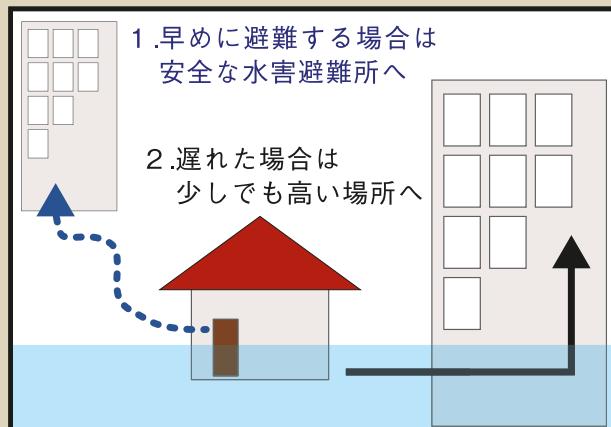
避難経路をたくさん考えておこう！
「必ずあそこに避難」ではなく、
その場の判断も必要になるのだキュン！



ステップ
6

水害避難所への避難が危険な場合

水の高さが約50cm（大人のひざの高さ程度）を超えたたら、高い所で救援を待ちましょう。逃げ遅れた場合や、暗闇などの場合で水害避難所へ行くことに危険を感じたら、無理に水平方向へ避難するのではなく、安全が確保できる少しでも高い2階や3階（垂直方向）へ避難しましょう。



ステップ
7

みんなで助け合う

洪水などにより自宅が浸水した場合は、水害避難所で長時間生活することになる場合があります。
お互い助け合いましょう。



2 資料

2-1 備蓄チェックリスト

2-2 避難先一覧

備蓄チェックリストについて

いざというときのために、日ごろから非常持出品や防災備蓄品を用意しておきましょう。チェックリストを参考に、自分用・家族用にアレンジして準備したら、取り出しやすい場所に置いておきましょう。

【非常持出品】 … 避難するときに、最初に持ち出すものです。最初の1日程度を過ごせるように準備し、リュックなどに入れておきましょう。

【防災備蓄品】 … 自宅での生活に利用したり、避難後に自宅から避難先へ持ち出して利用したりするものです。救援物資が届くまでの最低3日分（可能な限り7日分）、生活できる分量を備えましょう。また、家族の状況に応じて、それぞれに必要なものを準備しておきましょう。



避難先一覧について

藤沢市内の地区防災拠点本部・避難施設・水害避難所・広域避難場所を、地区ごとにまとめています（マップ掲載順）。近所にどのような避難先があるか、事前に確認しておきましょう。

2-1 備蓄チェックリスト

危険を感じたら迷わず【非常持出品】を持って避難！

リュックに入れておくもの	
食料 1日3食	<input type="checkbox"/> 簡単な着替え (1組)
<input type="checkbox"/> (火を通さずに食べられるもの 乾パン、缶詰類、ビスケット、飴など)	<input type="checkbox"/> タオル、バスタオル (1~2枚)
<input type="checkbox"/> 飲料水 (500ml × 3本)	
<input type="checkbox"/> 懐中電灯 (1つ、予備の電池も)	<input type="checkbox"/> 救急箱 (マスク、毛抜き、消毒液、 脱脂綿、絆創膏、 包帯、目薬、虫除け、 虫刺され薬、 常備薬や持病の薬)
<input type="checkbox"/> ろうそく (4~5本)	<input type="checkbox"/> ポリ袋、ゴミ袋 (2~3枚)
<input type="checkbox"/> ライター、マッチ (1個)	<input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ (1~2個)
<input type="checkbox"/> 携帯電話の電池式充電機器 (機種にあったもの、予備の電池も)	<input type="checkbox"/> 防寒用具 (上下一式)
<input type="checkbox"/> ティッシュ (1つ)	<input type="checkbox"/> 軍手や革手袋 (1組)
<input type="checkbox"/> ウェットティッシュ (1つ)	<input type="checkbox"/> 敷物 (レジャーシートなど)
<input type="checkbox"/> トイレットペーパー (1つ)	<input type="checkbox"/> 布製ガムテープ (1つ)
<input type="checkbox"/> 生理用品 (普段のものを多めに)	<input type="checkbox"/> 油性マジック (太)、筆記用具
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ (1つ、予備の電池も)	<input type="checkbox"/> 通帳や保険証などのコピー
<input type="checkbox"/> 多機能ナイフ、缶切り (1つ)	<input type="checkbox"/> ロープ (5m ~)

※上記は、大人1人分の目安です。

リュックと合わせて用意しておくもの	
<input type="checkbox"/> 現金 (お札と電話用の小銭)	<input type="checkbox"/> ヘルメット、防災頭巾
<input type="checkbox"/> お薬手帳	<input type="checkbox"/> 防災笛 (ホイッスル)
赤ちゃん用品 <input type="checkbox"/> 粉ミルク、ほ乳瓶、おやつ、離乳食、 紙おむつ、おしりふき、着替え、 おもちゃ、母子手帳 など	高齢者用品 <input type="checkbox"/> 介護用品、紙おむつ、着替え、 予備の入れ歯 など

自宅が無事な場合は【防災備蓄品】が活躍します

被災後の生活のために最低3日分(可能な限り7日分)を備蓄しておくもの

食料 1日3食×家族分 <input type="checkbox"/> (アルファ化米やパン缶、インスタント、レトルト食品、缶詰類、ビスケット、飴、調味料など)	<input type="checkbox"/> 皿、コップ <input type="checkbox"/> 箸、スプーン、フォーク <input type="checkbox"/> マスク
飲料水 (1日1人3Lが目安) <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ドライシャンプー
給水容器 (給水タンクや非常用給水袋) <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 簡易トイレ <input type="checkbox"/> 除菌用アルコールシート
ラップ、アルミホイル <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ポリ袋、ゴミ袋

普段の生活で使っているものも活用します

<input type="checkbox"/> 石けん	<input type="checkbox"/> 新聞紙
<input type="checkbox"/> 歯ブラシ	<input type="checkbox"/> 卓上コンロ、ガスボンベ
<input type="checkbox"/> 歯磨き粉	<input type="checkbox"/> 毛布、寝袋
<input type="checkbox"/> ティッシュ	<input type="checkbox"/> 予備のメガネやコンタクトレンズ
<input type="checkbox"/> トイレットペーパー	<input type="checkbox"/> 雨具、長靴
<input type="checkbox"/> 生理用品	<input type="checkbox"/> 工具セット

□ 安心グッズ

(幼児や知的・発達障がい者のいる家庭では、心のケアのため、おもちゃや絵本のような普段使い慣れている「安心グッズ」が必要になります。)

「ローリングストック」って?

普段から食料を多めにストックしておき、少し食べたら「補充」を繰り返す。

ストックしている食料(備蓄品)を賞味期限前に新しい物に交換していくんだ。

備蓄品は、どんどん食べて、新しい物を補充しよう!



2-2 避難先一覧

マップ（P22 以降）掲載順

避難先種別	No.	名称	所在地	電話番号 (0466)
御所見 マップ A B C D				
地区防災拠点本部	1	御所見市民センター	打戻 1760-1	48-1002
避難施設	2	御所見小学校※1	打戻 1902	48-1255
	3	中里小学校※1	瀬郷 68	48-7733
	4	御所見中学校	用田 500	48-1014
	5	葛原公民館	葛原 1385	—
水害避難所	6	御所見小学校周辺	打戻 1902 他	—
長後 マップ A B				
地区防災拠点本部	1	長後市民センター	長後 513	44-1622
避難施設	2	長後小学校	長後 770	44-0129
	3	富士見台小学校	下土棚 591-1	44-4725
	4	長後中学校※1	下土棚 590	44-0341
	5	高倉中学校	高倉 1122	45-5320
	6	県立藤沢総合高等学校	長後 1909	45-5200
	7	こぶし荘※1	下土棚 800-1	45-3121
	8	高倉中学校	高倉 1122	—
広域避難場所	9	藤沢湘南台病院	高倉 2345	—
	10	長後中学校周辺	下土棚 590 他	—
遠藤 マップ A B C D				
地区防災拠点本部	1	遠藤市民センター	遠藤 2984-3	87-3009
避難施設	2	秋葉台小学校※1	遠藤 2959	87-3014
	3	秋葉台中学校	遠藤 2000-2	87-6815
	4	慶應義塾大学	遠藤 5322	49-3404
	5	遠藤市民の家	遠藤 1	—
水害避難所	6	秋葉台公園周辺	遠藤 2000-1 他	—

地区防災拠点本部は「福祉避難所・水害避難所」を、避難施設（※1 を除く）は「水害避難所」を兼ねます。

災害時に使用する避難施設は自主防災組織などで、また広域避難場所は地区割りで決めていますが、状況に応じて適切な避難先へ避難することができます。

避難先種別	No.	名称	所在地	電話番号 (0466)
六会		マップ C D		
避難施設	1	六会市民センター	亀井野 4-8-1	81-6677
	2	俣野小学校	西俣野 2660	81-7751
	3	亀井野小学校	亀井野 3-31	81-5551
	4	天神小学校	天神町 1-1	81-2451
	5	石川小学校	石川 4-19-1	86-2551
	6	六会小学校	亀井野 550	81-5595
	7	六会中学校※1	亀井野 1000	81-2802
	8	日本大学藤沢高等学校※1	亀井野 1866	81-0123
	9	日本大学生物資源科学部※1	亀井野 1866	84-3800
	10	日本大学藤沢小学校※1	亀井野 1866	81-7111
	11	県立藤沢工科高等学校	今田 744	43-3402
水害避難所	12	北部環境事業所	石川 2168	44-0702
広域避難場所	13	日本大学	亀井野 1866	—
湘南台		マップ A B C D		
避難施設	1	湘南台市民センター	湘南台 1-8	45-1600
	2	湘南台小学校	湘南台 5-23	43-3682
	3	湘南台中学校※1	湘南台 7-18-1	45-4811
	4	県立湘南台高等学校※1	円行 1986	45-6600
	5	多摩大学※1	円行 802	82-4141
水害避難所	6	藤沢市まちづくり協会ビル	円行 2-3-17	46-7788
広域避難場所	7	湘南台公園周辺	湘南台 7-16 他	—
湘南大庭		マップ C D E F		
避難施設	1	湘南大庭市民センター	大庭 5406-1	87-1111
	2	駒寄小学校※1	大庭 5527-2	87-4611
	3	小糸小学校	大庭 5062-1	87-9149
	4	大庭小学校※1	大庭 5307-7	87-1100
	5	滝の沢小学校	遠藤 641-3	87-3521
	6	大庭中学校※1	大庭 5416-6	87-5271
	7	滝の沢中学校※1	遠藤 699-3	87-9148
	8	県立藤沢西高等学校 (耐震工事中)	大庭 3608-2	87-2150
広域避難場所	9	大庭城址公園	大庭 5230-1	—
	10	滝の沢小学校周辺	遠藤 641-3 他	—

地区防災拠点本部は「福祉避難所・水害避難所」を、避難施設（※1を除く）は「水害避難所」を兼ねます。

災害時に使用する避難施設は自主防災組織などで、また広域避難場所は地区割りで決めていますが、状況に応じて適切な避難先へ避難することができます。

避難先種別	No.	名称	所在地	電話番号 (0466)	
善行		マップ		C D E F	
地区防災拠点本部	1	善行市民センター	善行 1-2-3	81-4431	
避難施設	2	善行小学校	善行団地 6-1	81-6573	
	3	大越小学校	善行坂 1-19-1	81-6051	
	4	善行中学校※1	石川 3988-1	82-2212	
	5	やすらぎ荘※1	稲荷 586	81-6068	
	6	藤嶺学園 藤沢翔陵高等学校※1	善行 7-1-3	81-3456	
	7	聖園女学院	みその台 1-4	81-3333	
水害避難所	8	県立総合教育センター 善行庁舎	善行 7-1-1	81-0188	
広域避難場所	9	藤嶺学園藤沢翔陵 高等学校グラウンド	善行 7-1-3	81-3456	
明治		マップ		E F	
地区防災拠点本部	1	明治市民センター	辻堂新町 1-11-23	34-3444	
避難施設	2	明治小学校	城南 3-3-1	33-2442	
	3	羽鳥小学校※1	羽鳥 3-11-1	34-1617	
	4	明治中学校※1	辻堂新町 2-13-1	33-1300	
	5	羽鳥中学校	羽鳥 4-13-14	36-3111	
	6	芙蓉カントリークラブ	大庭 2320	—	
広域避難場所	7	神台公園周辺	辻堂神台 1-6-2 他	—	
藤沢西部		マップ		E F	
地区防災拠点本部	1	藤沢公民館	藤沢 1-9-17	22-0019	
避難施設	2	大清水小学校※1	大鋸 1433	81-2348	
	3	大清水中学校※1	大鋸 1400	82-2503	
	4	県立藤沢清流高等学校※1	大鋸 1450	82-8111	
	5	本町小学校	本町 2-6-17	26-1577	
	6	第一中学校	鵠沼神明 5-10-9	25-3100	
	7	県立湘南高等学校	鵠沼神明 5-6-10	26-4151	
	8	石名坂温水プール	本藤沢 1-10-1	82-5131	
水害避難所	9	済美館(藤沢公民館分館)	本町 4-6-16	28-4471	
	10	県立湘南高等学校周辺	鵠沼神明 5-6-10 他	—	

地区防災拠点本部は「福祉避難所・水害避難所」を、避難施設(※1を除く)は「水害避難所」を兼ねます。

災害時に使用する避難施設は自主防災組織などで、また広域避難場所は地区割りで決めていますが、状況に応じて適切な避難先へ避難することができます。

避難先種別	No.	名称	所在地	電話番号 (0466)
藤沢東部			マップ	E F
地区防災拠点本部	1	藤沢公民館	藤沢 1-9-17	22-0019
避難施設	2	大道小学校	朝日町 3-3	26-3976
	3	大鋸小学校	大鋸 1020	27-6131
	4	藤沢小学校	本町 1-9-1	25-7533
	5	藤嶺学園藤沢高等学校	西富 1-7-1	23-3150
広域避難場所	6	翠ヶ丘公園	西富 593-2	—
村岡			マップ	F G
地区防災拠点本部	1	村岡公民館	弥勒寺 1-7-7	23-0634
避難施設	2	新林小学校	川名 400	27-1951
	3	村岡小学校	弥勒寺 1-16-1	26-3290
	4	高谷小学校	高谷 9-1	25-6151
	5	村岡中学校	弥勒寺 2-1-27	27-6421
	6	藤ヶ岡中学校	藤が岡 3-18-1	26-5197
	7	みどりの園	小塚 370-1	—
水害避難所	8	小塚東町内会館	小塚 41-21	—
	9	新林公園周辺	川名 411-1 他	—
	10	藤ヶ岡中学校	藤が岡 3-18-1	—
広域避難場所	11	高谷小学校周辺	高谷 9-1 他	—
辻堂			マップ	E F G 1 2
地区防災拠点本部	1	辻堂市民センター	辻堂東海岸 1-1-41	34-8661
避難施設	2	辻堂小学校	辻堂東海岸 1-17-1	33-4121
	3	浜見小学校※1	辻堂西海岸 1-4-1	34-0278
	4	高砂小学校※1	辻堂西海岸 1-3-1	36-5149
	5	八松小学校	辻堂元町 3-1-6	34-3500
	6	湘洋中学校	辻堂東海岸 4-17-1	33-2215
	7	高浜中学校	辻堂西海岸 1-4-3	34-5225
	8	湘南工科大学※1	辻堂西海岸 1-1-25	34-4114
	9	湘南工科大学附属高等学校※1	辻堂西海岸 1-1-25	34-4114
	10	湘南工科大学周辺	辻堂西海岸 1-1-25 他	—
広域避難場所	11	長久保公園	辻堂太平台 2-13-35	—

地区防災拠点本部は「福祉避難所・水害避難所」を、避難施設（※1を除く）は「水害避難所」を兼ねます。

災害時に使用する避難施設は自主防災組織などで、また広域避難場所は地区割りで決めていますが、状況に応じて適切な避難先へ避難することができます。

避難先種別	No.	名称	所在地	電話番号 (0466)
		鵠沼	マップ	E F G 1 2 3
避難施設	1	鵠沼市民センター	鵠沼海岸 2-10-34	33-2001
	2	鵠南小学校	鵠沼海岸 4-7-34	34-0179
	3	鵠洋小学校	鵠沼桜が岡 3-16-38	26-3989
	4	鵠沼小学校	本鵠沼 5-4-23	23-3119
	5	鵠沼中学校	鵠沼桜が岡 4-3-37	25-6255
	6	太陽の家	鵠沼海岸 6-6-12	33-1411
	7	藤沢市民会館	鵠沼東 8-1	23-2415
	8	藤嶺学園鵠沼高等学校	鵠沼藤が谷 4-9-10	22-4783
	9	湘南学園	鵠沼松が岡 4-1-32	23-6611
	10	湘南なぎさ荘	鵠沼海岸 6-17-7	36-2315
水害避難所	11	JFE エンジニアリング(株) 江の島苑友荘	鵠沼松が岡 1-17-4	—
広域避難場所	12	藤沢市民会館周辺	鵠沼東 8-1 他	—
	13	八部公園	鵠沼海岸 6-12	—
		片瀬	マップ	F G 2 3
避難施設	1	片瀬市民センター	片瀬 3-9-6	27-2711
	2	片瀬小学校	片瀬 2-14-29	26-1440
	3	片瀬中学校	片瀬山 4-1-1	26-2814
	4	湘南港港湾管理事務所 (通称ヨットハウス)	江の島 1-12-2	22-2128
	5	湘南白百合学園 中学校・高等学校	片瀬白山 4-1	27-6211
	6	湘南白百合学園小学校	片瀬海岸 2-2-30	22-0200
	7	江島神社※1	江の島 2-3-8	22-4020
水害避難所	8	片瀬しおさいセンター (片瀬公民館分館)	片瀬 4-9-22	29-6668
	9	江の島市民の家	江の島 2-2-14	—
広域避難場所	10	江の島サムエル・コッキンギング苑	江の島 2-3-28	—
	11	片瀬山公園	片瀬 3-12	—
	12	片瀬中学校	片瀬山 4-1-1	—

地区防災拠点本部は「福祉避難所・水害避難所」を、避難施設（※1を除く）は「水害避難所」を兼ねます。

災害時に使用する避難施設は自主防災組織などで、また広域避難場所は地区割りで決めていますが、状況に応じて適切な避難先へ避難することができます。

市民センター・公民館は、地区の防災拠点であり、
水害避難所であり、福祉避難所なんだキュン！

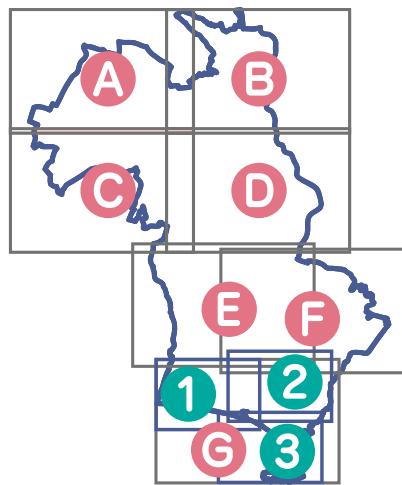


2 資料

2-3 各家庭で作る防災マップ

各家庭で作る防災マップ A～G … 藤沢市内の防災関連施設と被害想定を示したマップで、出かけるときなどに備え、藤沢市全域を載せてあります。自宅や避難施設、普段よく行く場所（駅、スーパー、病院、保育園、仕事場など）も書き込み、マップを完成させましょう。

津波避難情報マップ 1～3 … 藤沢市の沿岸部を拡大したマップです。津波浸水想定区域外への避難が困難な場合に避難する「津波避難ビル」を確認したり、避難経路を書き込みましょう。



被害想定（ハザード）について

津波浸水想定区域 … 東日本大震災を教訓に、最大クラスの津波（慶長型地震による津波）が発生した場合に浸水が想定される区域を示しています。

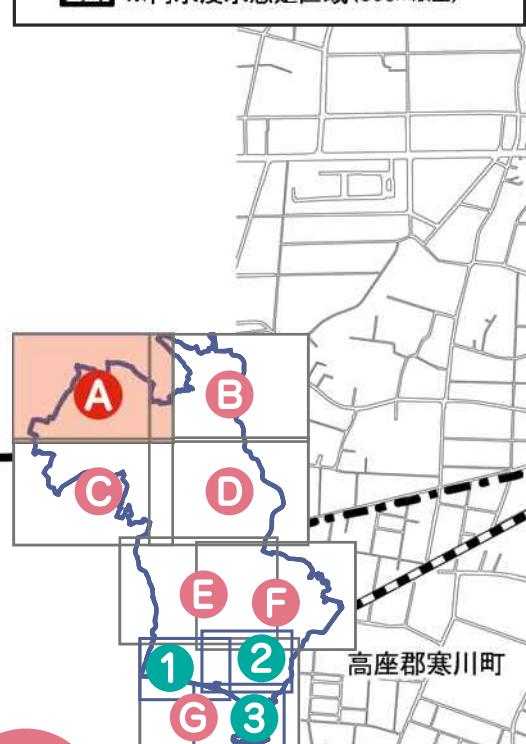
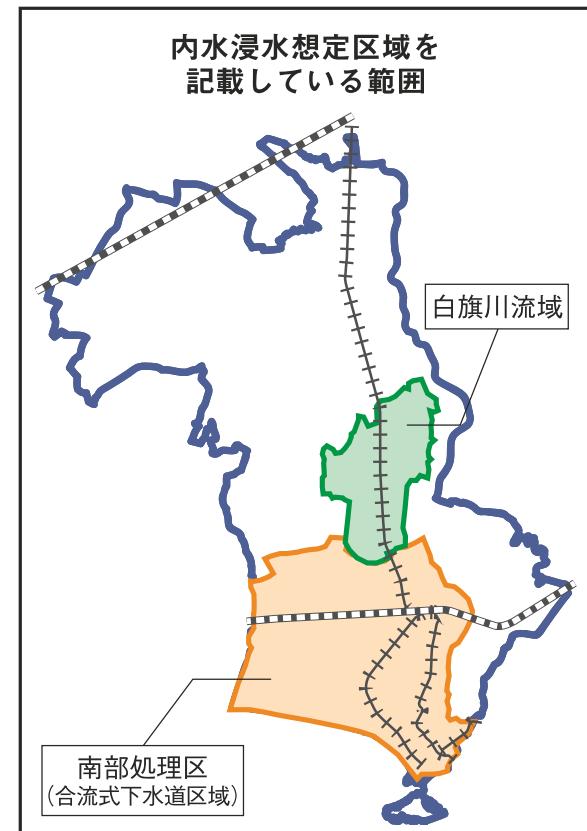
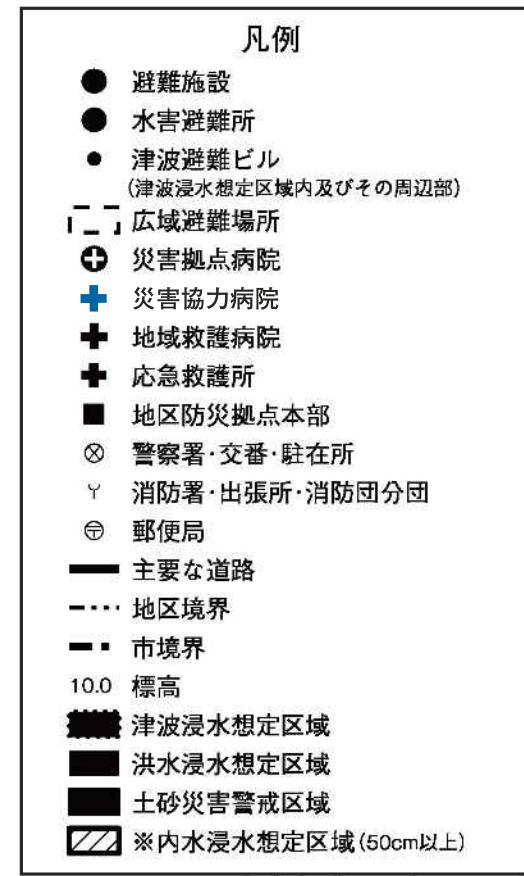
また、津波避難情報マップ 1～3 では、津波浸水想定区域の浸水深を色分けして示しています。

洪水浸水想定区域 … 大雨により増水し、堤防の決壊などで水があふれ出た場合に浸水が想定される区域を示しています。想定した雨の基準は、次のとおりです。境川（93mm/時間）、引地川（74mm/時間）、目久尻川（81mm/時間）、小出川（81mm/時間）。

土砂災害警戒区域 … 『土砂災害防止法』に基づいて神奈川県が指定した、大雨などの場合に土砂災害の発生が想定される区域を示しています。

内水浸水想定区域 … 道路側溝・下水道幹線の能力を上回る雨が降った場合や、河川水位が上がり下水道幹線から河川に排水できない場合に浸水が想定される区域を示しています。藤沢市で把握している南部処理区（合流式下水道区域）と白旗川流域の浸水想定区域のうち（P23 上段右側の地図に範囲を示しています）、浸水深50cm以上の区域を示しています。想定した雨の基準は、1時間あたり75mmです。

被害想定（ハザード）は、それぞれの災害に関する一定の条件に基づいた結果等であり、区域外の安全性を示すものではありません。このことから、このマップに示した被害想定以外にも、地域で古くから伝わる大雨の浸水履歴などを書き加えて地図を作成しましょう。

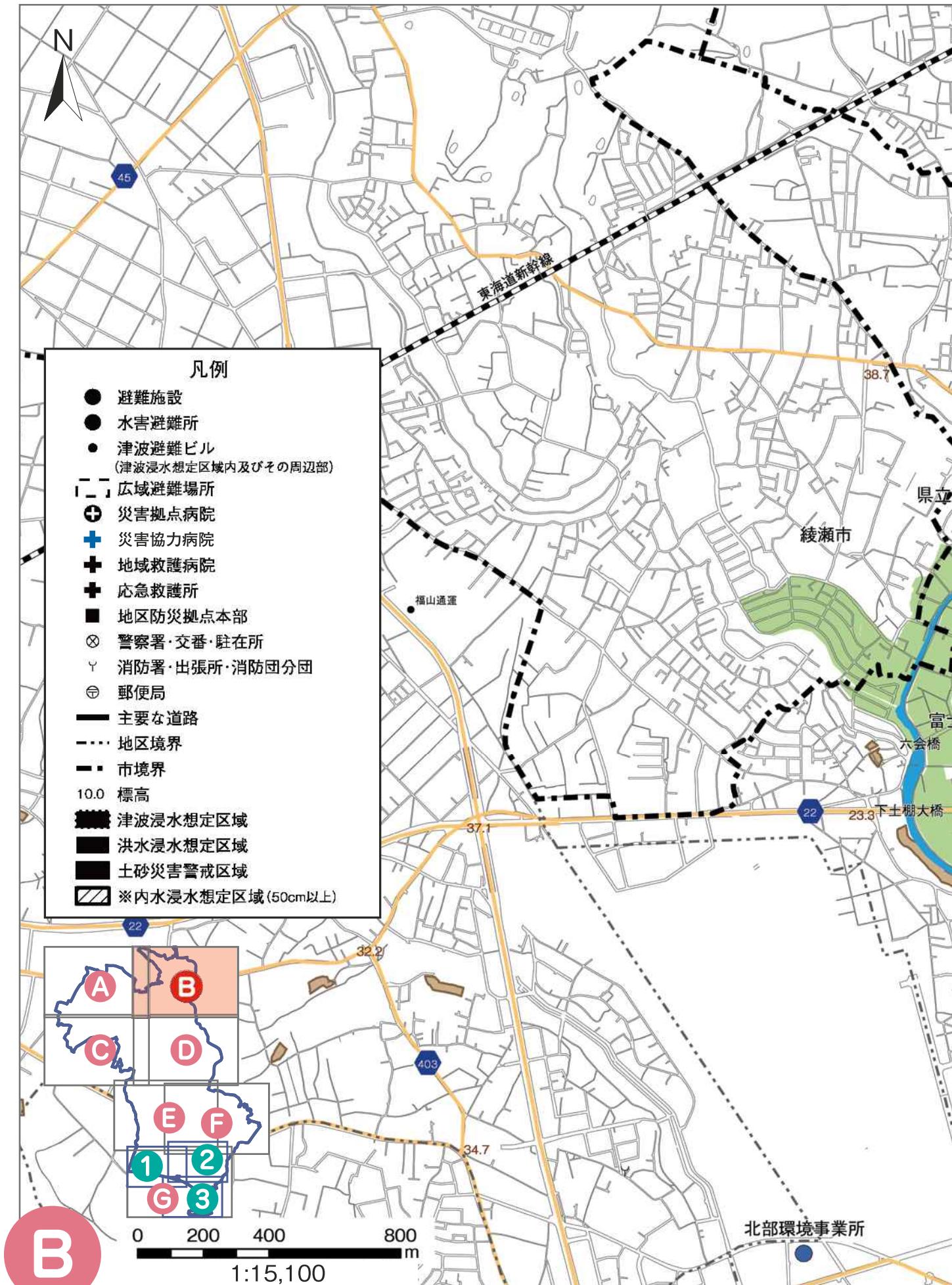


0 200 400
m
1:15,100

A

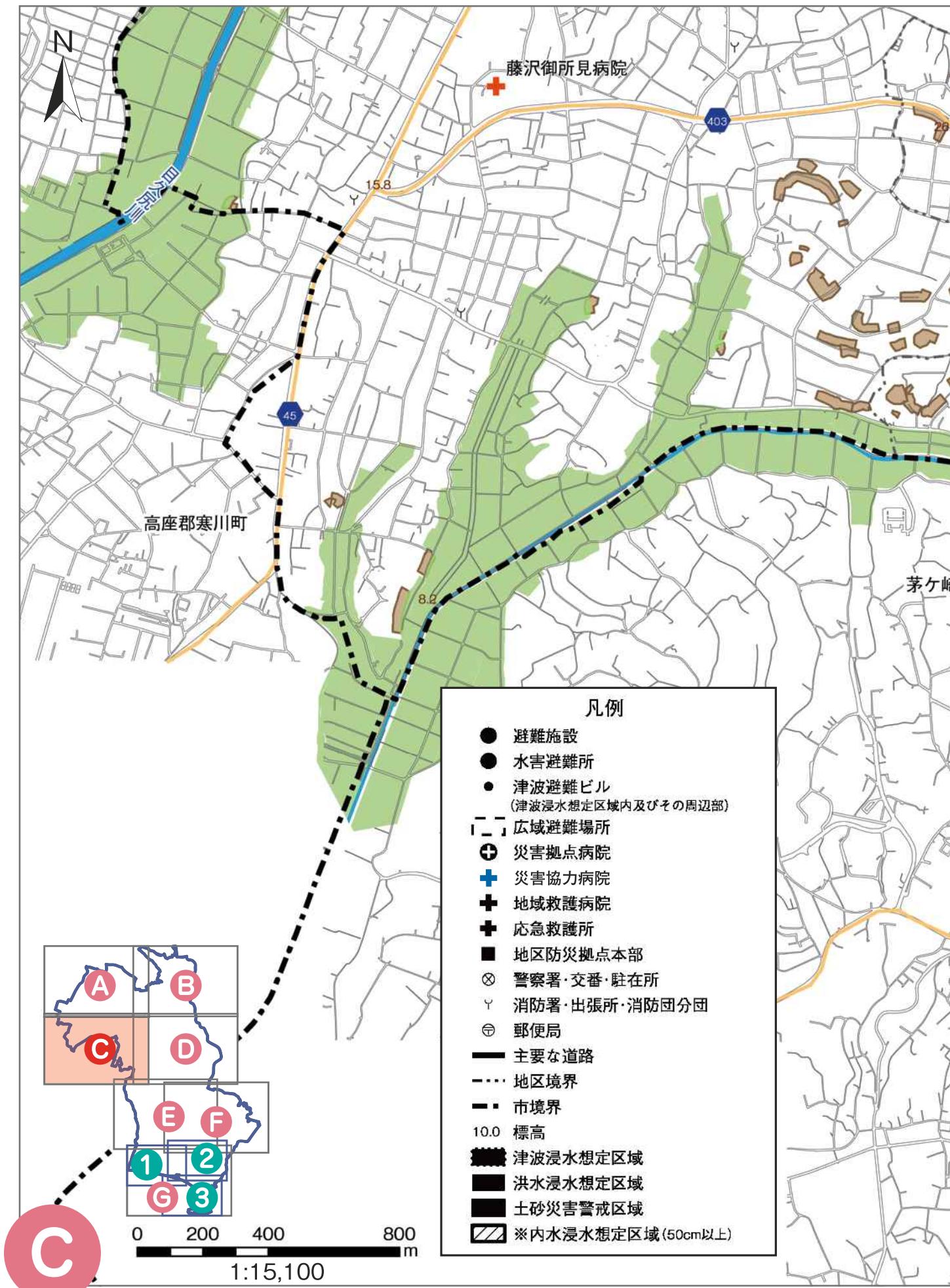
※内水浸水想定区域については、一部の範囲のみ（上段右側の地図参照）記載しています。

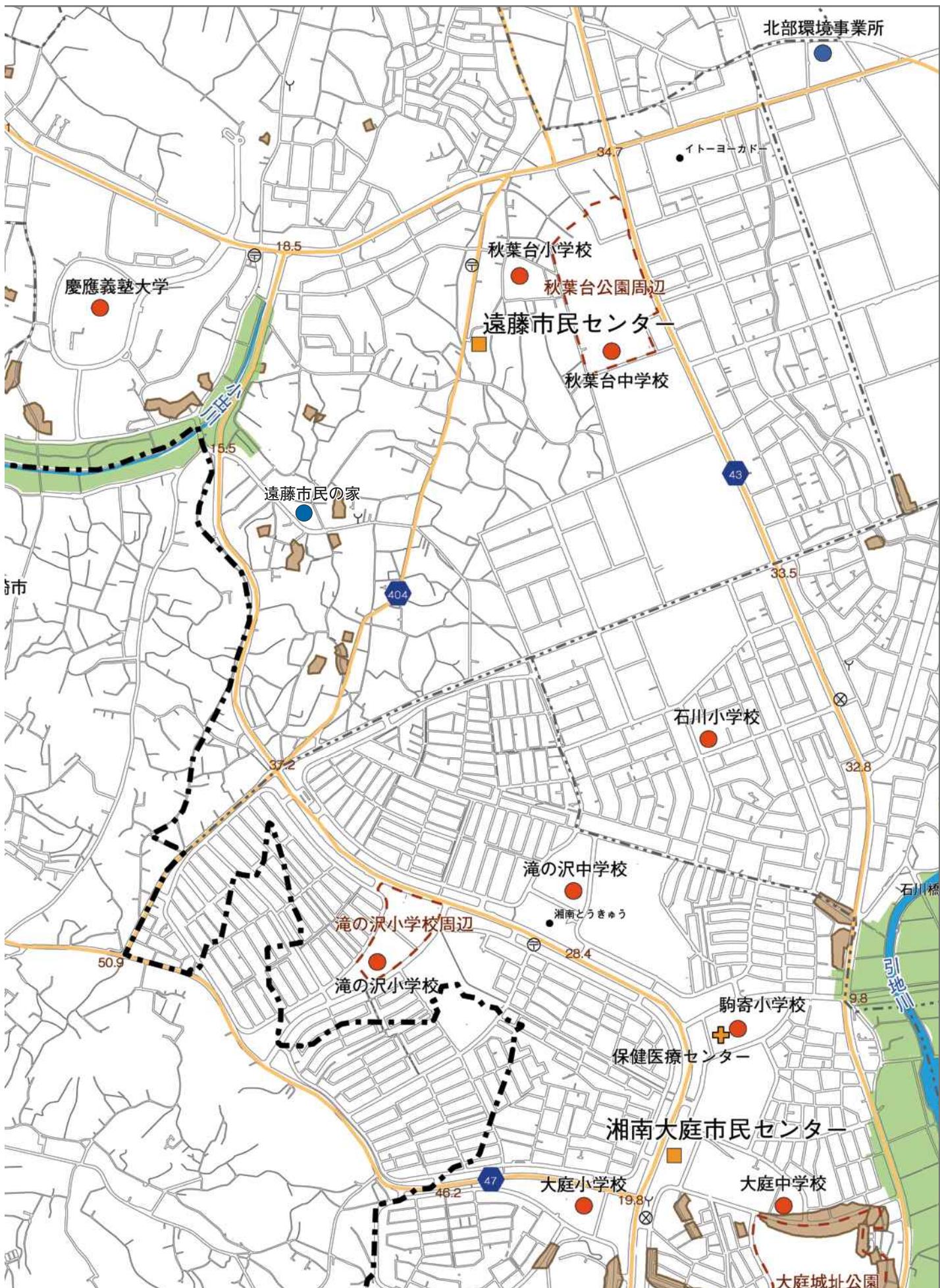




※内水浸水想定区域については、一部の範囲のみ（P23 上段右側の地図参照）記載しています。

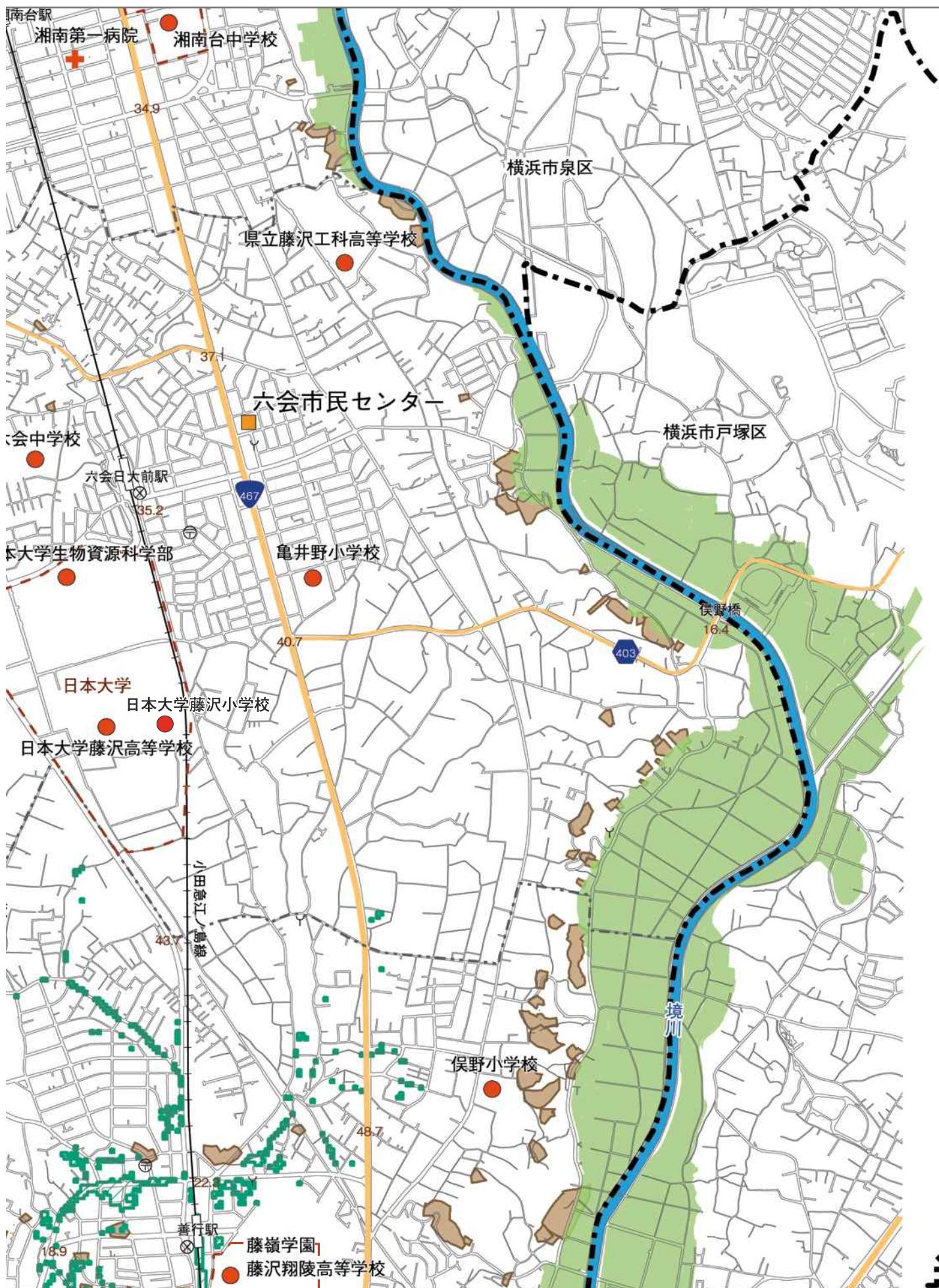


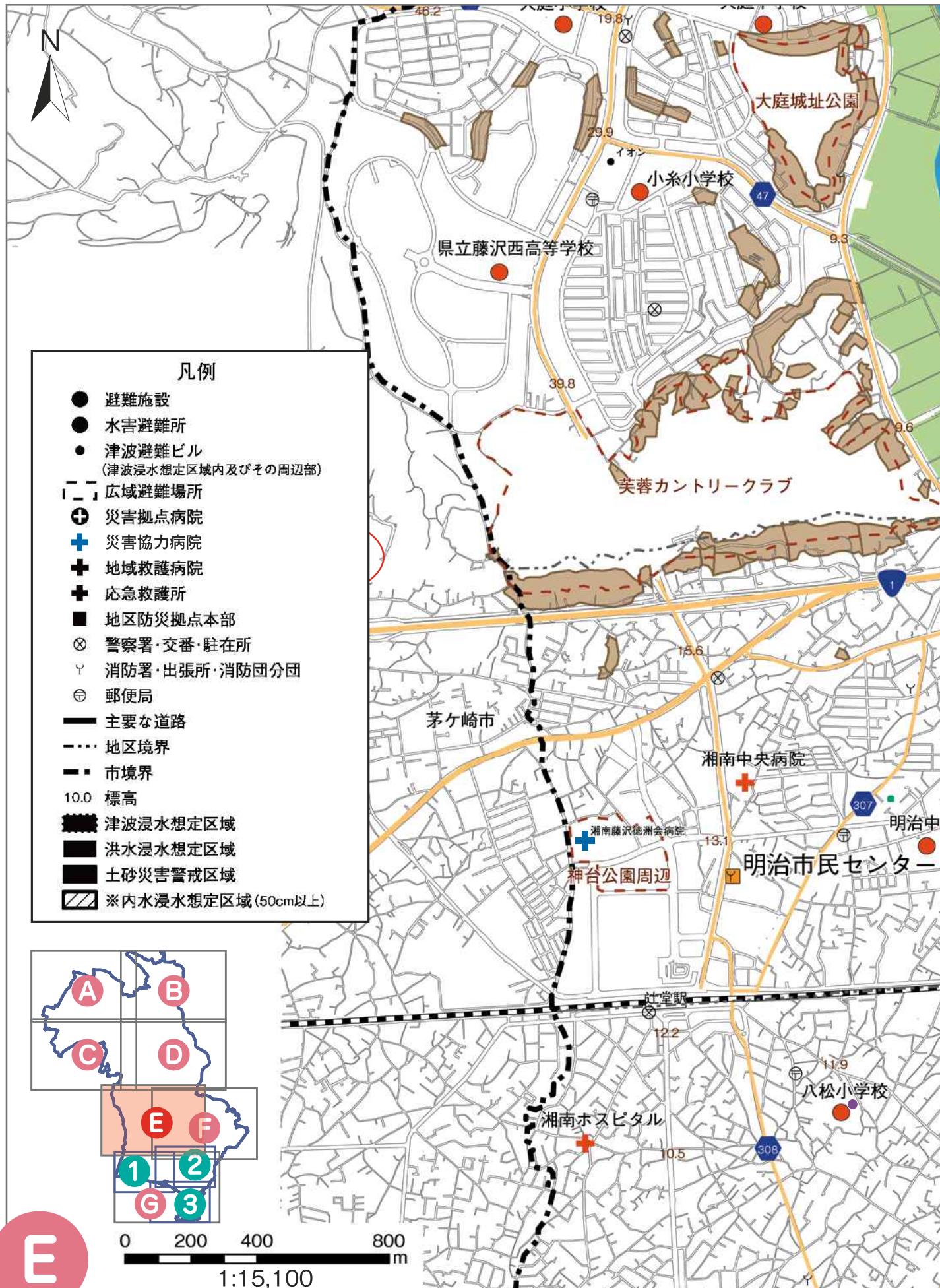




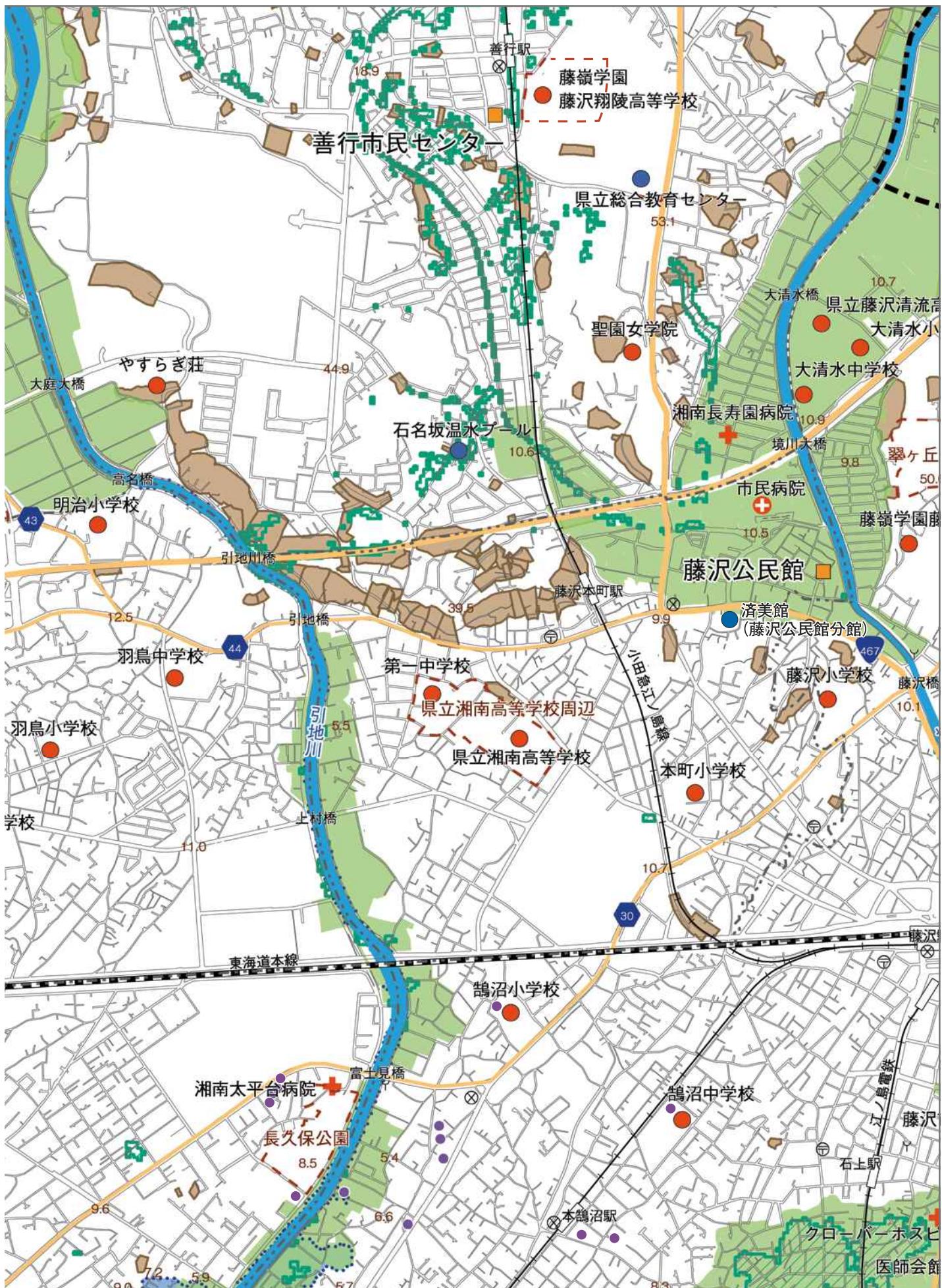


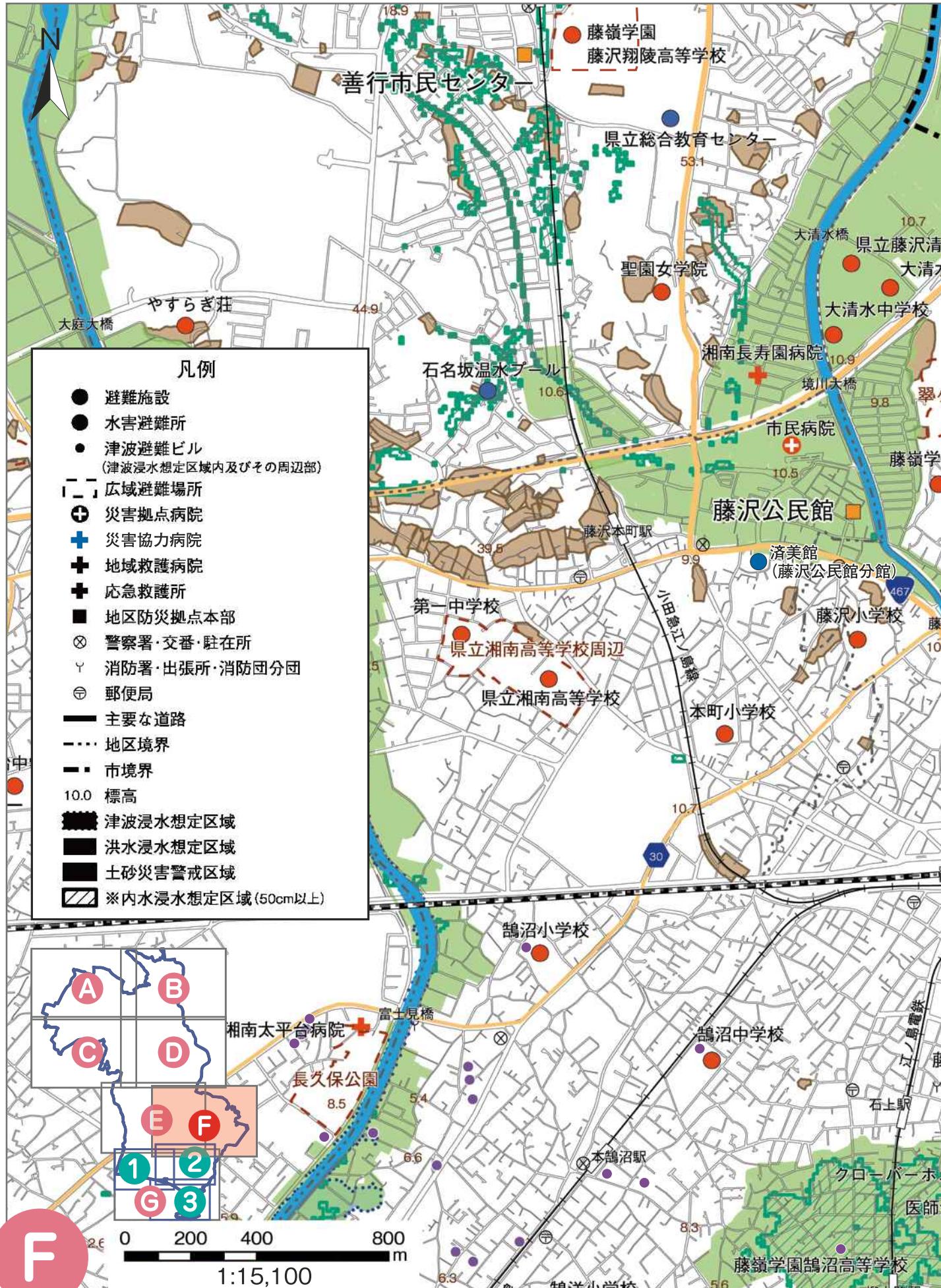
*内水浸水想定区域については、一部の範囲のみ（P23 上段右側の地図参照）記載しています。



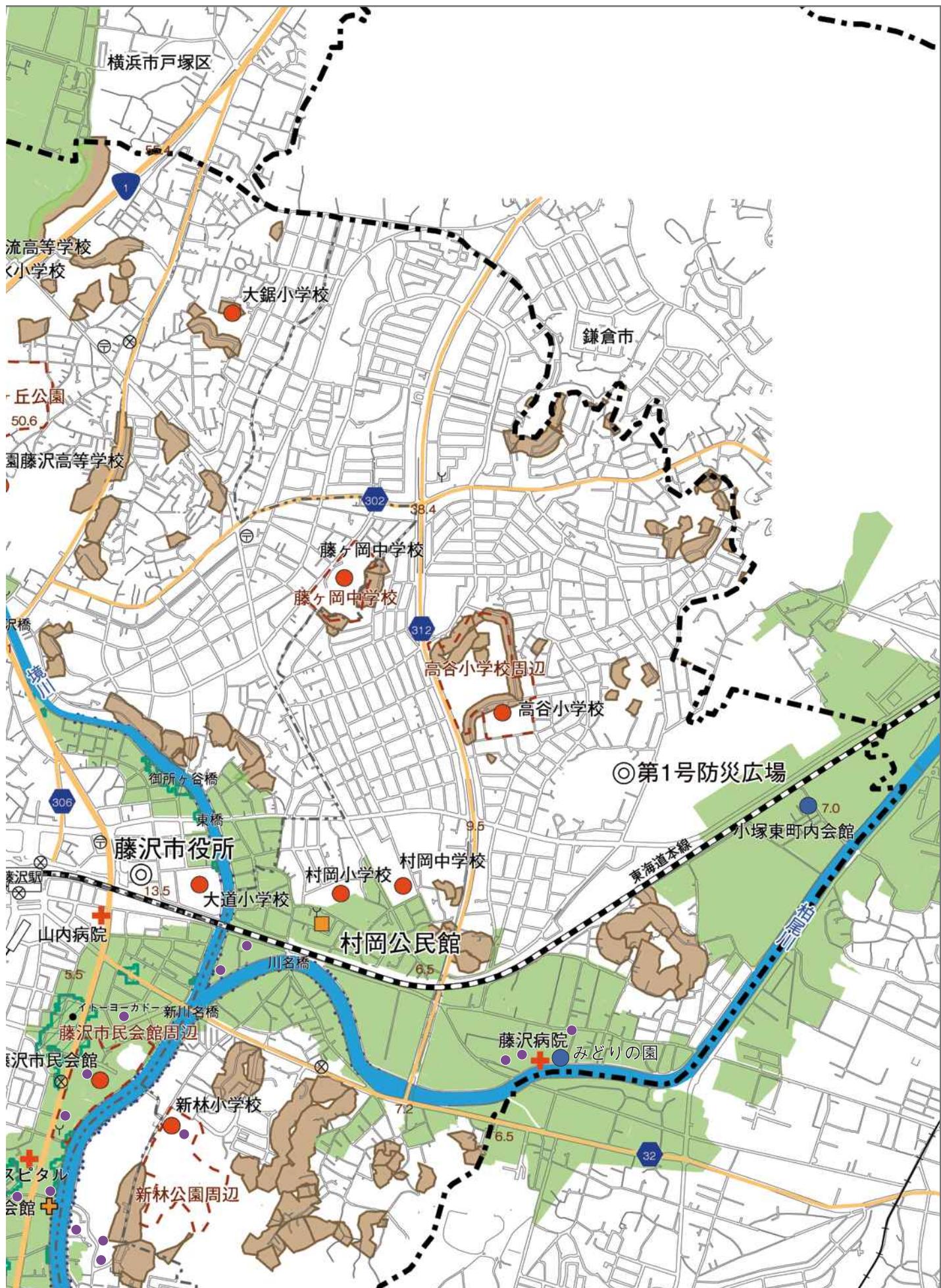


*内水浸水想定区域については、一部の範囲のみ (P23 上段右側の地図参照) 記載しています。





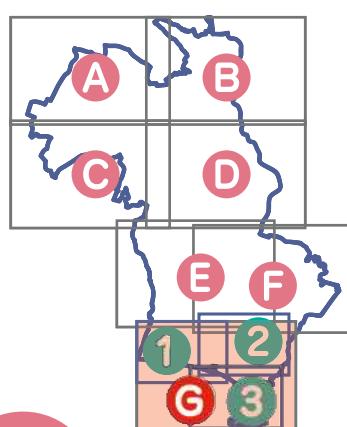
※内水浸水想定区域については、一部の範囲のみ (P23 上段右側の地図参照) 記載しています。





凡例

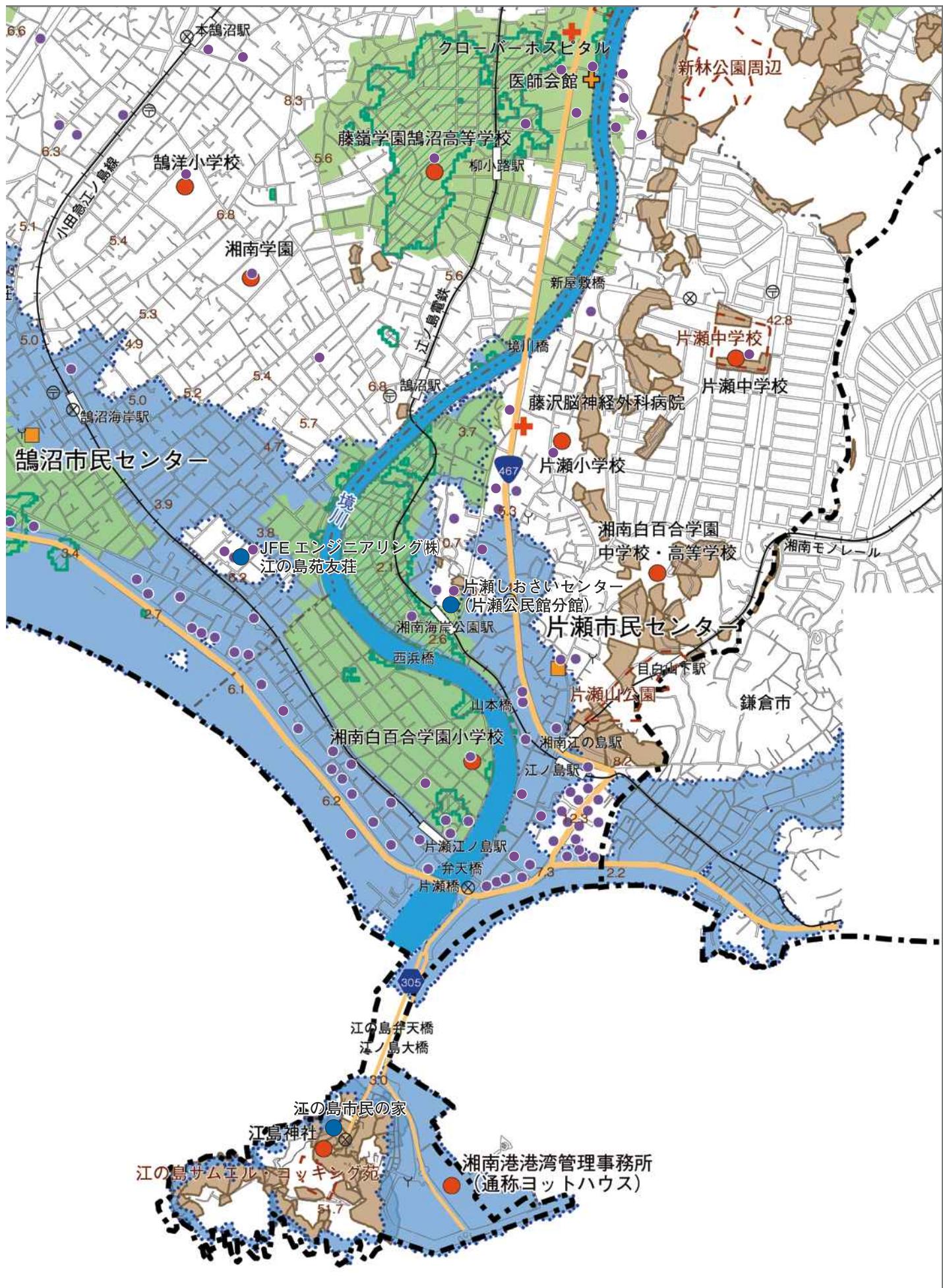
- 避難施設
- 水害避難所
- 津波避難ビル
(津波浸水想定区域内及びその周辺部)
- 広域避難場所
- ⊕ 災害拠点病院
- ✚ 災害協力病院
- ✚ 地域救護病院
- ✚ 応急救護所
- 地区防災拠点本部
- ⊗ 警察署・交番・駐在所
- △ 消防署・出張所・消防団分団
- ◎ 郵便局
- 主要な道路
- - - 地区境界
- - 市境界
- 10.0 標高
- 津波浸水想定区域
- 洪水浸水想定区域
- 土砂災害警戒区域
- ■ ■ ※内水浸水想定区域(50cm以上)

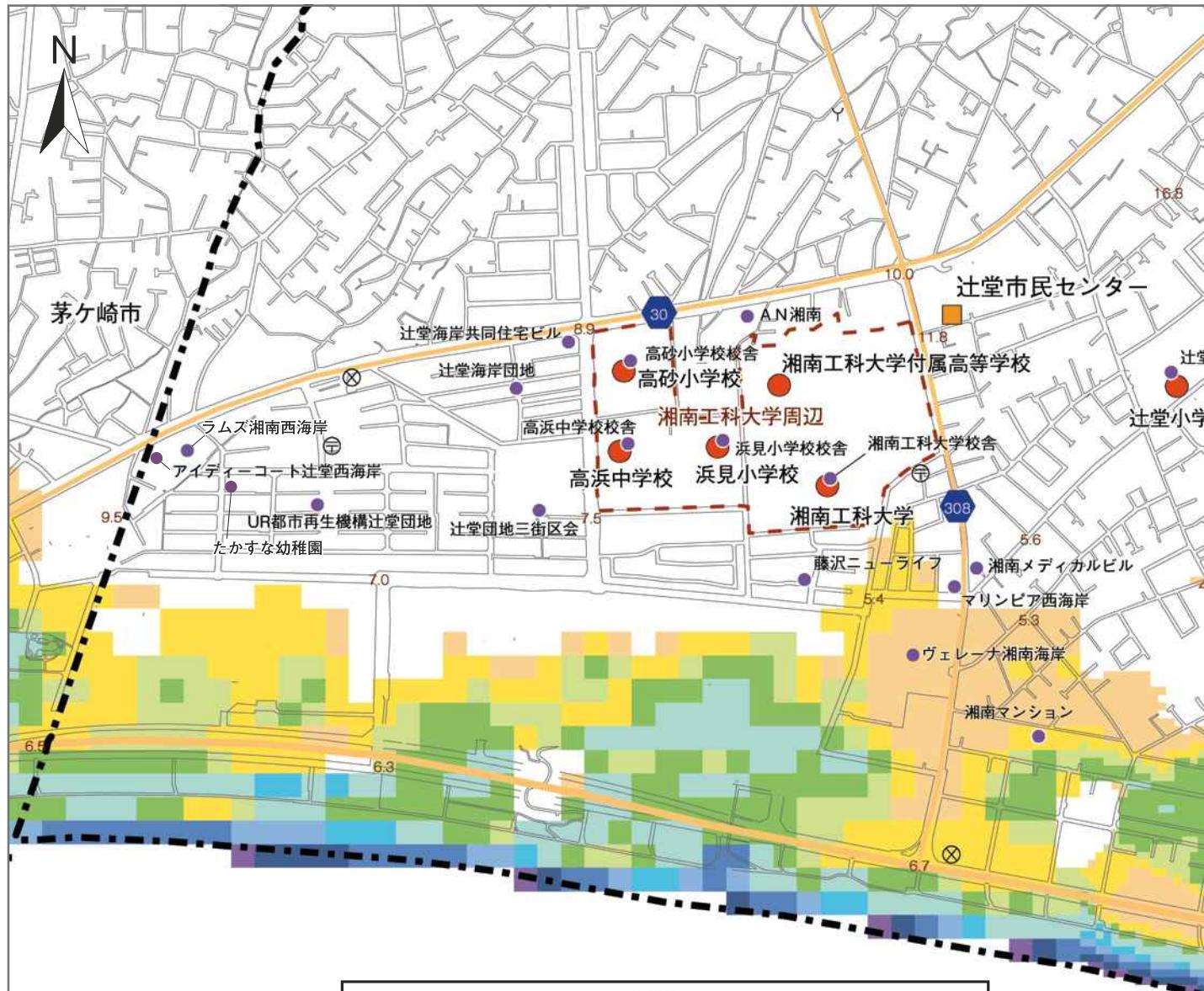


0 200 400 800 m
1:15,100

G

※内水浸水想定区域については、一部の範囲のみ（P23 上段右側の地図参照）記載しています。



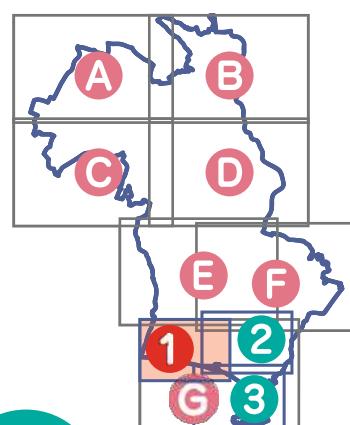


凡例

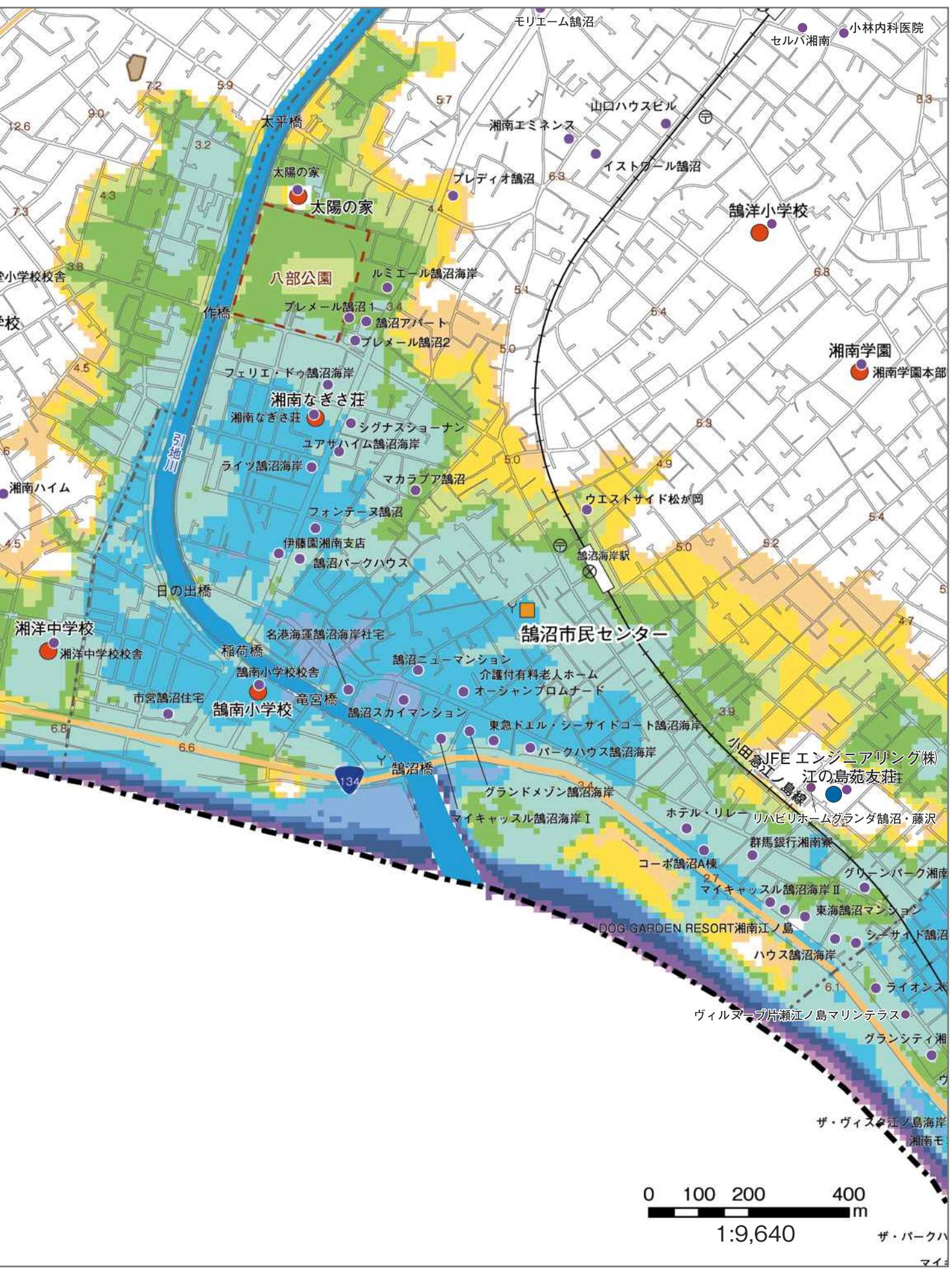
- | | |
|--------------------------------|-----------------|
| ● 避難施設 | ⊗ 警察署・交番・駐在所 |
| ● 水害避難所 | Ү 消防署・出張所・消防団分団 |
| ● 津波避難ビル
(津波浸水想定区域内及びその周辺部) | ⊕ 郵便局 |
| ■ 広域避難場所 | — 主要な道路 |
| ⊕ 災害拠点病院 | - - - 地区境界 |
| ⊕ 災害協力病院 | - - 市境界 |
| ⊕ 地域救護病院 | 10.0 標高 |
| ⊕ 応急救護所 | ■ 土砂災害警戒区域 |
| ■ 地区防災拠点本部 | |

津波浸水想定区域 浸水深(m)

0.00 - 0.15	3.00 - 4.00
0.15 - 0.50	4.00 - 5.00
0.50 - 0.80	5.00 - 6.00
0.80 - 1.20	6.00 - 7.00
1.20 - 2.00	7.00 - 8.00
2.00 - 3.00	

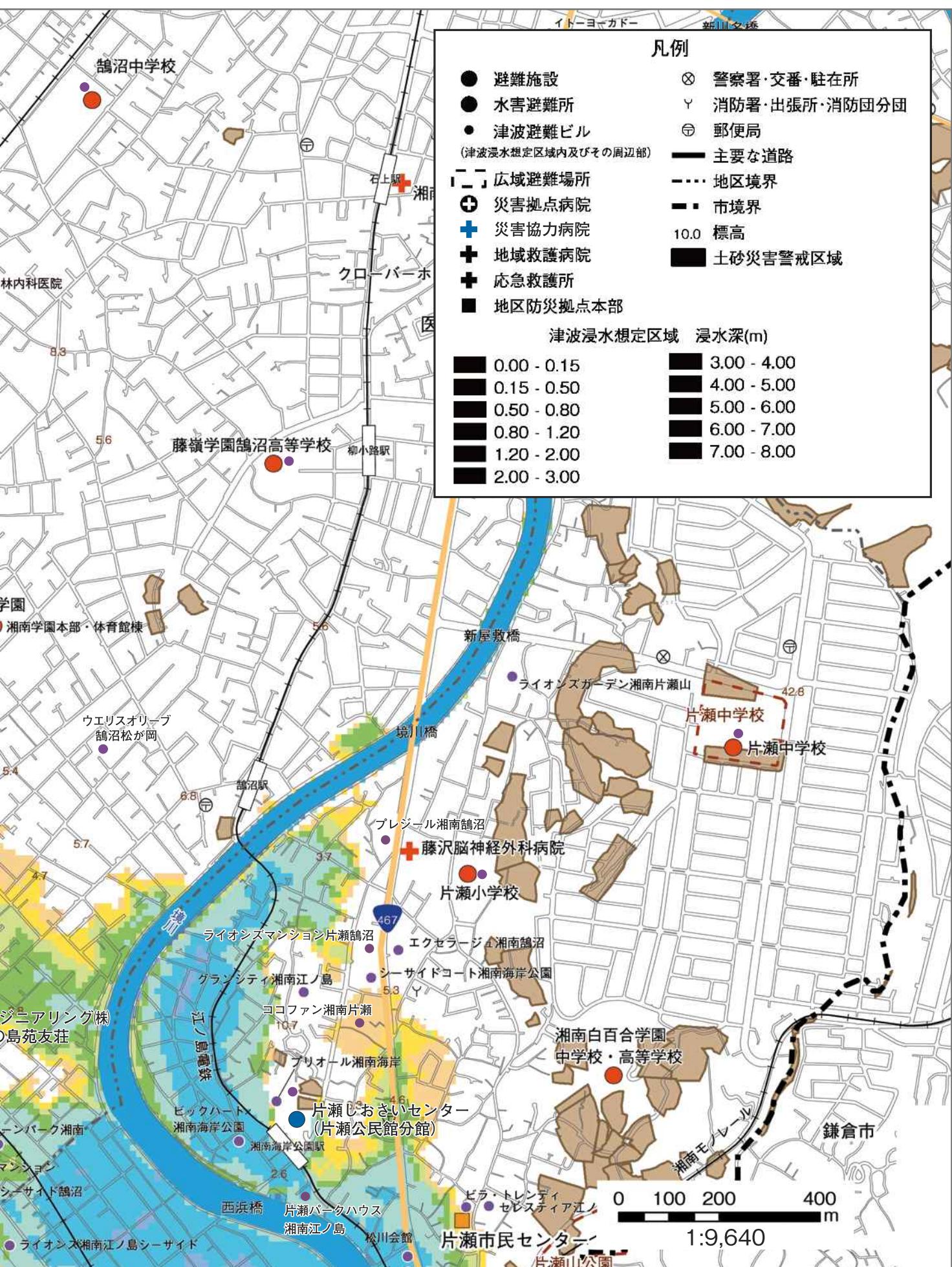


1





2





「江の島サムエル・コッキング苑」は、
標高 60m !



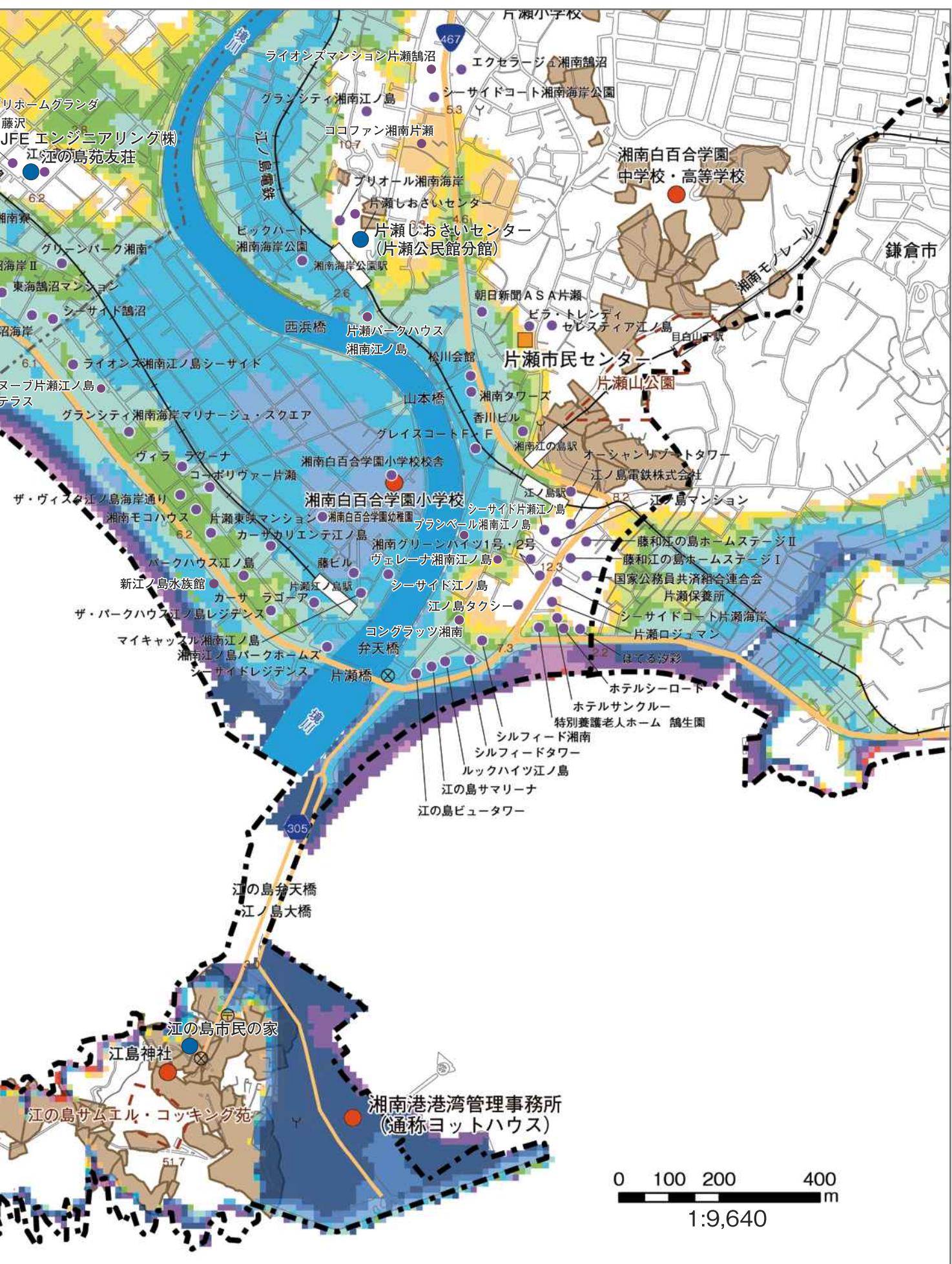
凡例

- 避難施設
- 水害避難所
- 津波避難ビル
(津波浸水想定区域内及びその周辺部)
- 広域避難場所
- + 災害拠点病院
- + 災害協力病院
- + 地域救護病院
- + 応急救護所
- 地区防災拠点本部
- ⊗ 警察署・交番・駐在所
- Y 消防署・出張所・消防団分団
- ⊕ 郵便局
- 主要な道路
- - - 地区境界
- - 市境界
- 10.0 標高
- 土砂災害警戒区域

津波浸水想定区域　浸水深(m)

0.00 - 0.15	3.00 - 4.00
0.15 - 0.50	4.00 - 5.00
0.50 - 0.80	5.00 - 6.00
0.80 - 1.20	6.00 - 7.00
1.20 - 2.00	7.00 - 8.00
2.00 - 3.00	8.00 - 9.00
	9.00 -

3





これまでに配布したハザードマップや
今後新たに配布されるマップ等は
本冊子と一緒にして保存しておこう。



～みんなの防災・オーダーメイドの災害対応編～

2017年（平成29年）8月

藤沢市防災政策課・危機管理課：0466(25)1111（代表）

家族・親戚の名前	勤務先・学校など	電話番号・携帯番号

一時避難場所		医院・診療所	
広域避難場所		応急救護所	
避難施設		地域救護病院	
水害避難所		その他	
福祉避難所			

■ 災害用伝言ダイヤル（171）の使い方	
録音方法	再生方法
①「171」にダイヤル	①「171」にダイヤル
② 音声案内が流れます	② 音声案内が流れます
③「1」をダイヤル	③「2」をダイヤル
④ 自宅などの電話番号をダイヤル	④ 確認したい相手の電話番号をダイヤル
⑤ 音声案内に従い伝言を録音	⑤ 録音された伝言が再生されます